

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

1. 瀬谷第二地区、南瀬谷地区の両地区とも連合・地区社会福祉協議会（以下、地区社協という）の活動が活発で、更に地域サロン等、福祉保健活動を推進する団体も数多く存在しています。地域資源も豊富で住民の福祉保健に対する意識も高い地域です。そのため、ケアプラザとしては、既存のサロンを含めて情報共有・支援に努めました。
2. 瀬谷第二地区は、サロン活動が盛んな地区であり、担い手も活躍しています。地区内において新たに地域サロンの立ち上げの動きがみられました。
3. 南瀬谷地区は独自に「南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会」を設け、ケアプラザも関わりながら、30年度の推進協議会実施体制の見直しに向けて、地域一丸となって取り組みました。
4. 両地区ともにこどもの貧困や孤食の問題に力を入れ、「こども食堂」を展開しています。ケアプラザとして後方支援を行いました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

1. こども・子育ての相談に関しては、「いきいき瀬谷っ子」事業において、にこてらすと合同で“子育て相談コーナー”を設置し、深刻な案件に関しては区役所等の専門機関へつなぎました。また、自主事業の「親と子のフリー広場」などで、気軽に相談ができる体制・環境づくりを行い、いろいろなケースの相談を受け、アドバイスを行いました。
また、瀬谷第二地区主催の「下瀬谷こども食堂」にも積極的に関わり、利用者の相談への対応を行いました。個別の深刻な相談に関しては、ケアプラザを通じて、地域の民生児童委員や区役所への”つなぎ”の役割を果たしました。
2. 障がい児・者に関する相談は、中途障がい者の支援事業である「四ツ木会」の座談会などで様々な気持ちを伝えることができるように、環境づくりに努めました。
また、自立支援協議会やひなたやま支援学校の協力による「障がい者支援事業」を積極的に開催し、相談しやすい環境づくりに努めました。
3. 区役所や関係機関と連携し、多様な場面で相談に対応できるように努めました。
4. 上記以外にも高齢・子ども・障がい児・者をはじめとした福祉保健に関する相談に関しては、地域サロンや催しなどの地域活動に地域活動交流（以下、地域交流という）・地域包括支援センター（以下、包括という）職員、生活支援コーディネーターが積極的に参加して、相談しやすい環境を整えました。

(3) 各事業の連携

1. 会議毎に記録などをファイリングして保管しており、常に閲覧可能な状態を保ち、情報の共有に努めました。
2. 包括と地域交流、生活支援コーディネーターが毎月5職種会議を開催し、それぞれ把握した地域ニーズや課題については情報共有し、支援体制づくりや啓発事業につなげるなど、連携して課題解決に向けて取り組みました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 雇用促進による地域の活性化に寄与できるよう、職員採用については、地域採用を心がけました。
2. 当法人で運営している地域ケアプラザと連携を図りながら、定期的に勉強会を開催し、経験に応じた研修を計画・実施し専門職としてのスキルアップを図りました。また、内外研修に積極的に参加し、部署毎の会議の機会を利用し、伝達研修等を行い、共有し合いました。
3. 職員に対して、日頃の業務に対する課題や業務全般の意欲を確認するなど、継続したフォローアップに努めました。
4. 他部署の業務把握が行える職員会議を毎月開催し、連携したサービス提供を実施しました。

※包括加配職員及び生活支援コーディネーターに一時欠員が生じました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. 地域ケアプラザを利用されている地域の福祉保健団体と日常的に情報交換を行い、それぞれの団体が地域の中で活躍できるよう協力しました。また、子育て応援ネットワークや地域の子育て拠点・支援者を通じて、子育て支援の協力関係を深めました。
2. 月1回のケア会議において、包括・地域交流、生活支援コーディネーター、エリア担当の区役所ケースワーカー・保健師、瀬谷区社会福祉協議会（以下、区社協という）と情報交換・共有を図りました。
3. 包括・地域交流、生活支援コーディネーターが連携して地域福祉保健計画・地区社協・民生委員児童委員協議会（以下、民児協という）の会議に出席し、地域関係者との定期的な情報交換に努めました。その中で、見守り体制アンケートを行い、それをもとに、地域住民主体での高齢者の見守り体制の強化を図りました。

(6) 区行政との協働

1. 地区別計画においては、各地区の計画の進捗状況を踏まえて地域ケアプラザの視点から支援の方法を提案しました。また、地域交流と包括が協力して地域会議やチーム会議に出席し、情報の提供やチームメンバーとの情報共有に努めました。
2. 第3期地域福祉保健計画の推進に向けて、地域の方が安心して暮らせるまちづくりや健康を意識して生活できるよう、事務局として関わり、支援しました。
3. 災害時特別避難場所としての機能を踏まえて、定期的に応急備蓄の確認・受け入れや区役所との情報共有を行いました。
4. 災害時特別避難場所として、区役所と連携して訓練を実施するために、区役所との協議を行いました。
5. ウォーキングポイントの参加促進の為に、POPやチラシを使い広報活動を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. ケアプラザを会場に、高齢・こども・障がい児・者と多様な分野における事業を実施したほか、地域住民や関係機関と連携した事業を実施しました。障がい者支援としては、南瀬谷地区社協・自立支援協議会と共催で「まんまるクラフト」を開催しました。
2. 子育て支援としては、夏休み企画として「クラフトバンド教室」、冬休み企画として「書初め教室」を開催しました。
3. 高齢者の交流の場として、「うたごえ広場」や「男の料理教室」を開催し、介護予防や認知症予防の取り組みを行いました。
4. 地域の方に横浜ひなたやま支援学校の生徒の活躍を周知できるよう、ケアプラザ内にて定期的にパンの販売を実施しました。
5. 地域住民や関係機関と連携を図り、子育て支援事業として「親と子のフリー広場」「ちびっこ集まれプラレール」を実施しました
6. ニツ橋ケアプラザ・阿久和ケアプラザとの共催で「音の駅」を開催しました
7. 第二地区との共催にて、“いきいき瀬谷っ子”事業の中で「子育て相談コーナー」を設けました。
8. 「秋のケアプラザ祭り」を開催し、地域の方々509名のご来場を頂きました（28年度400名）。貸館利用団体による演技の披露や地域の作業所・キャラバンメイト・配食団体による模擬店、障がい者施設による物品販売などたくさんの方々にご参加頂きました。また、ひなたやま支援学校のフードユニットによる手作りパンの販売も行い、大好評の中、短時間での完売となりました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. アンケートやご意見箱を活かし、部屋の備品の整備及び対応等、貸館利用団体が気軽に気持ち良く利用できる環境を整えました。また、広報紙やホームページを利用し、貸し館機能の周知を行った結果、新たな団体の登録につながりました。
2. 施設内の掲示板で活動団体のメンバー募集を行い、新規メンバー加入の協力をしました。
3. 夜間の利用率向上の為に、青少年育成の空手団体に空室情報を提供し、効果をあげました。また、ケアプラザとして子育て相談や子供の居場所づくりとして積極的に関わった「下瀬谷こども食堂」の活動も夜間の利用率向上に大きく貢献しました。
4. 地域で活動されている団体には、デイサービスやケアプラザ祭り等に参加協力を依頼し、発表の場を提供しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. ボランティアを行いたい方への情報提供として、館内のパネル展示や「ケアプラザだより」での広報活動を行い、デイサービスや自主事業でのボランティア活動につなげました。
2. ケアプラザで活動されているボランティアの方々へ感謝の意を表すとともに相互の情報交換及び交流の場として「ボランティア感謝の集い」の実施に向けて会議を行いました。
3. 若い世代のボランティア育成を目指し、福祉教育や職業体験等、近隣の小中学校との連携を図りました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 地域福祉保健計画推進協議会や地区社協、地域サロン等の地域会合や活動に参加して、新たな情報を収集し、課題把握をしました。また、地域で得た情報を他の機関・団体に伝えることにより地域全体で情報共有できるようにしました。
2. 地域及び区役所等、関係機関から得た情報を職員会議や朝礼の場で情報共有しました。
3. 貸館団体や来館者に対して、各種チラシやパネルを通して、福祉保健活動に資する情報提供を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 「カフェ・アロハ」を偶数月の第1金曜日に定期開催しました。その他、地域からの要望に応え、小規模多機能型居宅介護とサロンに各1回出張形式で開催しました。
2. 「カフェ・アロハ」は包括と地域交流との共催事業とし、準備を含め、協力して取り組むことができました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 地域のサロンや会議には可能な限り出席し、地域の声を拾い集めながら、ニーズを把握しつつあります。ひとり暮らしの高齢者からは、「月に数回はサロン等に参加しているが、それ以外の日は家に居てもやることなく、退屈。」「買い物支援があると良い」などの声が多く聞かれました。
2. 地域の会議に出席した際の議題等、資料を必要に応じて回覧するなどして情報共有に努めました。地域活動・サービスリストのデータベースシステムについては、閲覧操作マニュアルを作成しました。ケアプラザ内で共有し、情報を共有しています。
3. インフォーマルサービスマップを参考に地域をまわり、実態把握に努めました。介護予防・生活支援サービス補助事業により、地域のニーズに応じて新たに住民主体のインフォーマルサービス（ミニデイ）の立ち上げ支援にも、補助事業の申請の段階から関わり、調整を行いました。
4. 生活支援コーディネーター連絡会で作成した、地域包括ケアシステムに関するアンケートを実施し、エリア内の集計を行いました。集計結果から、地域活動に参加している人が少ないこと、よく外出する場所がスーパーやコンビニである人が圧倒的に多いことが判明しました。

(3) 連携・協議の場

1. 29年9月に着任して以来、積極的に地域の会議等に参加し、地域住民との関係づくりに努めました。現在は地域のNPO法人に、ニーズの高い買い物支援サービスの創出に向けた働きかけを少しずつ行っています。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. 毎月開催している生活支援コーディネーター連絡会の場で、区役所、1層コーディネーター、区内の2層コーディネーターと情報を共有しています。2層コーディネーターとの情報交換は広域の地域課題の認識の場でもあり、共通課題があれば、共に考え、場合によっては合同で他区のインフォーマルサービス視察や勉強会を開催するなどして、より良い地域支援に繋げるべく、協力し合いながら取り組んでいます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

1. 毎月1回ケア会議で、地域交流・区役所の地区担当保健師・ケースワーカー、区社協と地域の課題について話し合い、連携して対応しました。
2. 担当地域の各地区で毎月開催されている民児協の定例会に参加し、地域の高齢者の支援が円滑に行われるために必要な情報交換をしました。また、民生委員からの相談も増えて同行訪問するなど連携強化につながりました。
3. 各地区の地区支援チーム会議には地域交流と生活支援コーディネーターが出席したため包括職員の出席はありませんでしたが、職場内にて情報共有をしました。
4. 生活支援コーディネーターと主任ケアマネジャーがインフォーマルマップを更新する際、各活動の現状を把握することに繋がった。また、これまで足を運ぶ事がなかった活動（シニアクラブ等）にも顔を出すことができました。

② 実態把握

1. JAGES 2016（横浜市健康と暮らしの調査 2016）を用いてエリア内の地区診断を行いました。その結果、虚弱層が見えて来たり、地域とのつながりが弱い地域を把握することができました。
2. 近年、病院から末期の方の在宅支援の相談が多かったことから、今年度瀬谷区医師会・区社協と共催で「看取りについて」の講座を実施しました。
3. 地域サロンやシニアクラブなどへ出向き高齢者が抱える悩み等の把握に努めました。また、出前講座の依頼を受けるようになり相談しやすい関係づくりができました。
4. 瀬谷第二・南瀬谷両地区全自治会・町内会を対象に、「高齢者の見守り取組アンケート」を実施し、各自治会・町内会における実施されている見守りに関する取り組み状況の把握と情報共有を行いました。

③ 総合相談支援

1. 高齢者に関する相談は、担当者を決めて継続的に対応できるように努めました。また、エリア内の相談件数や相談内容を集計し運営協議会の場で報告しました。
2. 相談内容に応じて区役所や区社協、民生委員等と連携を図り、協力して必要な情報共有やアプローチをし、区民の安心した生活に繋がるよう支援しました。
3. ケアマネジャー等に繋がらないケースの場合、必要に応じて民生委員と協力し、継続的にフォローしました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 権利擁護事業として、29年8月に「エンディングノートの書き方講座」と「エンディングノートから遺言へ」の2つの講座を連続して開催しました。
2. 成年後見制度の相談があり、申し立て内容や財産目録等の書類確認や、必要に応じて専門家を紹介しました。また、地域サロンからの依頼で、「悪質商法について」の出前講座を行いました。

② 高齢者虐待への対応

1. 29年度の「介護者のつどい」オープン講座として、7月に「訪問マッサージについて」、9月に「看取りについて」、11月に「施設見学会」を実施し、介護に必要なコツやアドバイスを学べる機会としました。
2. 虐待ケースの早期発見に努め、ケアマネジャーや関係機関と情報を共有し緊急性などを見極めながら対応を図りました。

③ 認知症

1. エリア内の認知症キャラバンメイトと連携を図り、定例会を実施し、認知症サポーター養成講座を瀬谷第二小学校、瀬谷さくら小学校、地域サロンにて実施しました。また、秋のケアプラザ祭りにおいて出店し、キャラバンメイトの普及啓発を行いました。
2. 認知症に関する相談があった際、医療機関の案内や対応の仕方など、適切な支援を行いました。
3. 5・6月に連合単位で実施した「みんなで学ぶ認知症」は、民生委員・地域の担い手を対象に60人に参加いただきました。オレンジガイドの活用・区役所が行っているサービスについての普及・接遇についての理解を深め、見守る為の認知向上に繋がりました。実施後に、参加者から地域でおこなってほしいとの要望もあったことから、30年度は、地域住民を対象に開催予定です。
4. 29年度個別地域ケア会議では、「認知症」に関する事例を3事例検討しました。その結果、徘徊する方に対して地域の中で支援できること、ケアプラザが中心となって支援できることなど対応策を検討しました。30年度はケアプラザが中心となり、「見守りキーホルダー」の作成や仕組み作りを検討していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 地域のサロンやシニアクラブ等の要望に応じて出前講座を行いました。その他、介護予防教室において、体力の向上プログラム以外にも「エンディングノートの書き方講座」や「介護保険について」など、安心した在宅生活が続けられることを知ってもらう機会としました。
2. 民児協の定例会に出席し、ケアプラザから情報を発信しました。地域課題を共有して情報や意見交換の場として、11月に「消防署と民生委員・ケアマネジャーの交流会」を実施しました。
3. 隔月開催されるキャラバンメイトの定例会に参加し認知症サポーター養成講座を円滑に開催できるように支援し、地域の認知症の正しい理解の浸透を図りました。

② 医療・介護の連携推進支援

1. 毎月「施設協力医とケアマネジャーの交流会」を開催し医療と介護の情報や意見交換を通して理解を深め、より円滑な連携が取れるようにしました。
2. 新任ケアマネジャーを対象に研修を開催しました。また、医療情報の見直しに取り掛かっています。
3. 認知症の高齢者が速やかに適切な治療やサービス利用ができるように瀬谷区認知症医療連携検討会に参加しました。
4. 在宅サポートネットワークに参加し近隣の医療機関や医師会、その他介護従事者等が集まり、「高齢者を見守る資源と活用の可能性について」意見交換等を行いました。

5. 在宅医療連携相談室・瀬谷区ケアマネットと共催で医師会と介護従事者と意見交換のできる交流会の開催に向けて協議しました。
6. 地域内の医療機関を3か所訪問し、医師から認知症患者の通院状況や課題と感じていること、医療連携で作成した資料の使用の有無などの意見を伺いました。

③ ケアマネジャー支援

1. 毎月「施設協力医とケアマネジャーの交流会」を開催し事例検討や医師からの医療知識のレクチャー等を通してケアマネジャーのスキルアップを図りました。
2. 区内の他の包括、ケアマネットと協力し、10月に「病院相談員とケアマネジャーの交流会」、1月「訪問介護事業所とケアマネジャーとの連絡会」を企画・開催しました。
3. 区内の包括主任ケアマネジャーが協力し、「ケアマネカレンダー」を毎月、「ケアマネ通信」は2回発行して、地域のケアマネジャーに情報発信しました。
4. 9月に区内包括職員と協力し、介護予防サービスや介護予防ケアマネジメントがより適切に行われるように介護予防従事者研修を開催しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. エリア内の地域密着型サービスの運営推進会議等に参加し地域住民も交えて地域におけるサービスの妥当性や資質向上を図れるように、現状の把握や検討を行いました。
2. 29年度個別地域ケア会議では、「認知症」に関する事例を3事例検討しました。その結果、地域の中で支援できること、ケアプラザが中心となって支援できることなど対応策を検討しました。
30年度はケアプラザが中心となり、「見守りキーホルダー」の作成や仕組み作りを検討していきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 要支援者に介護予防の必要性を理解してもらい、介護予防の継続的な取り組みをしてもらえよう意欲の維持・向上を支援しました。
2. 4月にケアマネジャーを対象「総合事業とインフォーマルサービスについて」の研修会を実施し、介護保険サービス以外にもインフォーマルサービスをケアプランに取り込めるように周知しました。
3. 支援が難しいケースに関しては、包括・エリア担当の保健師・ケースワーカー・区社協と情報交換しながら支援強化に努めました。
4. 「みんなで学ぶ認知症」、「総合事業についての理解を深め、ケアプランに取り入れよう地域資源」を開催し、地域での見守りのポイントやインフォーマルサービス等を学ぶ機会を設けました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 28年度に引き続き各地域で介護予防教室を実施し、普及啓発を行いました。また、各教室を連続講座にする事で、継続的なフォロー・見守り・評価を行い、内容の充実を図りました。
2. 既存の元気づくりステーションが、継続的に自主活動が行えるよう支援しました。また、「ホップステップハーモニー」では瀬谷公会堂をお借りし、発表会を開催

しました。「健康ねっこの会」では、オープン開催の日を設けて、日々の活動内容を見学して頂き、新規の方が10名増えることができました。

3. 地域介護予防活動支援について、地域で介護予防の拠点となっている地域サロンに対して、内容が介護予防的要素（体操・脳トレ等）を取り入れられるよう継続支援を行いました。
4. 介護予防的要素を地域で普及啓発していくための担い手不足・高齢化が課題となっています。下瀬谷地域ケアプラザでは、新規の人材育成事業「1から始める健康習慣この手をつかもう」を企画しました。この事業では南瀬谷サポーターズとタイアップし、担い手を発掘しました。
5. 瀬谷第二地区内にて実施した介護予防教室よりボランティア希望の方がいたため、サロンの担い手を依頼し、支援することで新たなサロンの立ち上げに繋がりました。
6. 既存のサロンに関しては地域において交流会がなされていたこともあり、シニアクラブ交流会を企画しました。

5 その他

1. 29年度の「秋のケアプラザ祭り」では、新たにケアプラザの取引業者にもご協力を頂きました。キッズコーナーの遊具の提供により多くのこども達に喜んで頂きました。また、デイサービスに食品を納入している業者による焼きそばの販売も好評でした。イベント・模擬店・物販・展示等、「秋のケアプラザ祭り」を通じて、たくさんの地域の方々にご来場頂き、ケアプラザの周知と多世代交流に大きな成果をあげることができました。
2. 「下瀬谷こども食堂」に関しては、ケアプラザのネットワークを活用し、個別ケースの対応を行いました。また、南瀬谷地区に新たに開設されたこども食堂「ラッキー」に対する後方支援も行いました。
3. 瀬谷第二地区内におけるサロンの担い手の育成から、サロン立ち上げに積極的に関り、支援することで新たな住民主体の集いの場の創出に繋げることができました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設を利用するすべての方が安全・快適に利用できるように、指定管理施設であることを自覚し、「地域ケアプラザの管理運営に関する基本協定書」に定める基準に基づき、保守管理や環境維持業務を定期的に行い、施設及び設備の適正な維持管理を行います。保守や維持管理については、専門業者による定期点検や職員による日常点検を行いました。

1. 委託業務による設備・建物当の定期点検・維持管理
 - (1) 定期清掃、定期設備点検（レジオネラ症防止対策・害虫駆除）
 - (2) 電気設備保守点検
 - (3) ガス設備定期点検
 - (4) 消防設備点検
 - (5) セキュリティ会社による夜間設備保守
2. 職員による日常点検
 - (1) 「閉館前点検チェック表」による防犯・防災の設備点検
 - (2) 修繕箇所などが発生した際は速やかに区役所と協議し、必要な対策を講じました。
 - (3) 館内清掃チェック表を用いて定期点検・清掃に取り組みました。

(2) 効率的な運営への取組について

1. ケアプラザは地域の福祉保健に関する拠点であり、効果的にその役割が果たせるように、5つの部署（地域交流、包括、生活支援体制整備事業、居宅介護支援事業所、通所介護事業所）が連携を密にして情報を共有して事業等を実施しました。また、毎月部署ごとでの会議を開催するとともに職員会議を開催し、ケアプラザ内全体での情報伝達の徹底や課題の共有と連携を図りました。
2. 自治会町内会、地域団体と連携して効果的な事業の展開を図り、ケアプラザ内の事業展開だけではなく、近隣の場所等をお借りしての事業開催を行いました。

(3) 苦情受付体制について

1. 当地域ケアプラザの運営法人である社会福祉法人同塵会が定める「苦情対応規程」に基づき、利用者の権利を擁護し、迅速に改善を図ることを念頭に取り組みました。
2. 事業所の受付に「苦情相談窓口」案内を掲示して施設利用者に周知しました。
3. 苦情相談は受付者を各事業の職員から選出し、迅速な対応ができるようにしました。介護保険の契約時に提示する重要事項説明書、個人情報使用同意書の説明時に苦情相談の受付体制を説明し、施設利用者に対しては、利用者アンケートにご意見、苦情などが書き込める項目を設けて、利用者の声が捉えられるように引き続き務め、実施します。
また、利用者・来館者に気軽に意見等を述べてもらえるよう、「ご意見箱」を継続して設置します。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1. 災害時や事故発生時に対応できるように「事故・防災対応マニュアル」を確認及び見直しを実施しました。
2. 防災訓練は瀬谷消防所の協力を得て、消防訓練を2回実施しました。また、職員を対象にAED訓練や区役所と協力し、区内で初めての「特別避難場所設置訓練」を実施しました。
3. 防犯については、日常的に職員が「閉館時点検チェック表」に基づき見回り、パソコンや個人情報書類が入っている書庫への施錠を行い、職員退出後はセキュリティ会社による保守管理を行いました。また、非常口付近に人感センサーライトを設置しており、引き続き防犯強化に努めます。

(5) 事故防止への取組について

1. 事故を未然に防ぐために、必要に応じて「ヒヤリハット」の作成および回覧をし、結果を基にして職員会議等で話し合いを実施しました。その他、「安全管理マニュアル」を職員の目の届く場所に常備し、再確認しています。
2. 感染症対策については、職員会議等の際に研修（インフルエンザ・ノロウイルス対策）を企画し実施しました。
3. 個人情報の事故防止については、日常的な点検やダブルチェックの徹底に努め、全職員に対してチェックリストを実施しました。また、職員会議等で安全運転に関する講座を実施し、意識の向上に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

1. 指定管理施設として「横浜市個人情報保護に関する条例」及び下瀬谷地域ケアプラザの「個人情報保護マニュアル」に基づき、プライバシーの尊重を遵守した個人情報の保護に努めました。また、職員対象の個人情報保護についての研修を実施しました。
2. 施設入口には施設利用者向けに「個人情報に関する基本方針（プライバシーポリシー）」を掲示し、職員については「個人情報の保護に関する誓約書」の提出を行いました。
3. 郵便物、FAXなど外部との通信にはダブルチェックをし、適切な情報の取り扱いに継続して努めます。

(7) 情報公開への取組について

1. 広報誌「下瀬谷ケアプラザだより」を四半期ごとに発行し、自治会町内会の回覧版・掲示板を依頼して事業活動の周知を図りました。また、広報誌による情報の発信が効果的にできるよう、紙面の工夫をしました。
2. ケアプラザだよりをホームページからも閲覧できるようにし、効果的な情報発信に努めました。
3. 介護情報の情報公表は適時行い、第三者評価、ケアプラザ事業報告及び計画などを窓口に備え、引き続きいつでも閲覧できるようにしました。
4. 利用者にはわかりやすい説明を心がけて、活動紹介パネルなども活用しました。
5. 個人情報の開示請求に関しては、「指定管理者の情報の公開に関する標準規定」及び「横浜市下瀬谷地域ケアプラザ保有個人データの開示等の請求に関する規定」に準じて適切に対応しました。

(8) 人権啓発への取組について

1. 「こども、障がい児・者、高齢者」の人権擁護に関する研修（内外部）に参加し、人権侵害等未然に防げるよう努めました。
2. 人権擁護に関するパンフレット・リーフレット等の館内の配架やポスターの掲示をし、啓発活動に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

1. 横浜市で提唱する「3R夢プラン」に準じて、ゴミの減量・発生抑制、再使用・再利用に継続して取り組みました。また、災害時用に雨水タンクの活用や夏季にはゴーヤカーテンも実施しました。
2. 引き続き、不要不急の電力消費を見直し、節電に努めます。冷暖房の適正温度実行の励行に努め、裏紙の活用等も積極的に行いました。
3. 月に1回施設周辺の美化清掃を実施し、地域の環境整備に取り組みました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師（看護師） 1名
社会福祉士 2名（H29年7月1名から2名に変更）
主任ケアマネジャー 1名（H29年7月2名から1名に変更）

《目標に対する成果等》

包括3職種と介護予防支援事業のプランナーが協力して、エリア内の要支援認定者の介護予防ケアマネジメントを実施しました。

《その他》

要支援認定者及び事業対象者からのご相談があった際には状況把握に努め、事業所内で情報を共有し、担当者を決めて責任を持って対応しました。また、担当者不在時にも必要なサービス調整などがあれば早急に対応しました。
介護保険サービスの利用を目標とするのではなく、要支援者の自立支援を目指した視点でケアマネジメントを行い、アセスメント・ケアプラン作成をしました。
また、関係機関との連携及び適正なサービスが利用できるよう情報収集に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
265	255	255	271	278	279
10月	11月	12月	1月	2月	3月
283	293	308	299	306	305

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員

常勤兼務	2名（所長・管理者）
常勤	3名
非常勤	1名
合計	6名

《目標に対する成果等》

- ・ご利用者の意思を尊重し、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活が過ごせるように支援いたしました。
- ・介護保険サービスに偏ることなく、地域のインフォーマルサービスも取り入れてケアプランを作成しました。
- ・毎週会議でご利用者の情報を共有し、担当者が不在でも対応できるようにしました。

《実費負担》

- 通常のサービス地域を超える場合の訪問や出張にかかる交通費等の支払い。

《その他》

- ・ケアプラザ内に設置されている地域包括支援センターと密に連携できる体制を確保し、支援困難ケースにも対応しています。
- ・主任介護支援専門員の配置や24時間の連絡体制を確保しています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
148	149	152	171	168	162
10月	11月	12月	1月	2月	3月
158	161	159	163	163	165

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

サービス計画の作成、相談・援助等、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴

《実費負担》

通所介護

● 1割負担分

（要介護1）	614円
（要介護2）	725円
（要介護3）	837円
（要介護4）	948円
（要介護5）	1060円
入浴	54円

サービス提供体制強化加算Ⅰ（ロ） 13円

● 2割負担分

（要介護1）	1227円
（要介護2）	1450円
（要介護3）	1673円
（要介護4）	1896円
（要介護5）	2119円
入浴	108円

サービス提供体制強化加算Ⅰ（ロ） 26円

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ
（介護報酬総単位数×4.0%）×10.72（円）

● 利用料金口座振替手数料 108円

認知症対応型通所介護

● 1割負担分

（要介護1）	1072円
（要介護2）	1188円
（要介護3）	1305円
（要介護4）	1422円
（要介護5）	1539円
入浴	55円

サービス提供体制強化加算Ⅱ 7円

● 2割負担分

（要介護1）	2144円
（要介護2）	2376円
（要介護3）	2609円
（要介護4）	2844円
（要介護5）	3077円
入浴	109円

サービス提供体制強化加算Ⅱ 13円

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ
（介護報酬総単位数×4.0%）×10.88（円）

● 利用料金口座振替手数料 108円

《事業実施日数》 週 7 日 (ただし 12 月 28 日から 1 月 3 日は除く)

《提供時間》 通所介護 10:00～15:30
認知症対応型通所介護 9:15～16:15

《職員体制》

通所介護

管理者 1 名 (常勤兼務)
相談員 3 名 (常勤兼務 2 名、非常勤兼務 1 名)
看護職員 7 名 (非常勤兼務)
機能訓練指導員 7 名 (非常勤兼務)
介護職員 14 名 (常勤兼務 11 名、非常勤兼務 3 名)
調理員 6 名 (非常勤)
運転手 5 名 (非常勤)
清掃員 1 名 (非常勤)

認知症対応型通所介護

管理者 1 名 (常勤兼務)
相談員 3 名 (常勤兼務 2 名、非常勤兼務 1 名)
看護職員 7 名 (非常勤兼務)
機能訓練指導員 7 名 (非常勤兼務)
介護職員 14 名 (常勤兼務 3 名、非常勤兼務 3 名)
調理員 6 名 (非常勤)
運転手 5 名 (非常勤)
清掃員 1 名 (非常勤)

《目標に対する成果等》

ご利用者様が、居宅において自立した日常生活が営むことができるようにきめ細やかに支援しました。日々のケースカンファレンスにおいて利用者の個別対応や介護計画の見直しを随時行いました。

ご家族の精神的・身体的負担が軽減できるように支援しました。
日常生活における孤立感の解消ができるよう支援しました。

《その他》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用者様に合わせた機能訓練や季節感を感じていただけるプログラムを提供しました。

《利用者実績 (延べ人数)》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
926	993	981	1014	1046	959
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1031	989	951	855	913	1045

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

サービス計画の作成、相談・援助等、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴

《実費負担》

● 1割負担分

(通所型独自サービスⅠ) 1766円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 52円

(通所型独自サービス／22) 1766円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 52円

(通所型独自サービス2) 3621円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 103円

● 2割負担分

(通所型独自サービスⅠ) 3531円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 103円

(通所型独自サービス／22) 3531円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 103円

(通所型独自サービス2) 7241円
(サービス提供体制強化加算Ⅰロ) 206円

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ
(介護報酬総単位数×4.0%)×10.72 (円)

● 利用料金口座振替手数料 108円

《その他》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用者様に合わせた機能訓練や季節感を感じていただけるプログラムを提供しました。

《事業実施日数》 週 7 日 (ただし12月28日から1月3日は除く)

《提供時間》 10:00～15:30

《職員体制》

管理者 1名 (常勤)
相談員 3名 (常勤兼務2名、非常勤兼務1名)
看護職員 7名 (非常勤兼務)
機能訓練指導員 7名 (非常勤兼務)
介護職員 14名 (常勤兼務11名、非常勤兼務3名)
調理員 6名 (非常勤)
運転手 5名 (非常勤)
清掃員 1名 (非常勤)

《目標に対する成果等》

《その他》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用者に合わせた機能訓練や季節感を感じていただけるプログラムを提供しました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
19	16	18	17	20	21
10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	22	22	25	27	26

平成29年度「下瀬谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,332,000	630,800	15,962,800	15,962,800	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	127,430	127,430	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	49,234	49,234	
印刷代	0		0	21,710	21,710	
自動販売機手数料	0		0	11,844	11,844	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	15,680	15,680	確定拠出年金戻入収益
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	19,322,000	630,800	19,952,800	20,129,464	176,664	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,760,000	0	10,760,000	10,414,789	345,211	
本俸	6,894,000		6,894,000	7,278,426	384,426	
社会保険料	520,000		520,000	757,847	237,847	
手当計	2,500,000		2,500,000	2,187,194	312,806	
健康診断費	20,000		20,000	41,356	21,356	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	261,000		261,000	84,403	176,597	
その他	565,000		565,000	65,563	499,437	
事務費	1,385,200	0	1,385,200	1,411,624	26,424	
旅費	35,000		35,000	16,207	18,793	
消耗品費	300,000		300,000	306,438	6,438	
会議購入費	0		0	0	0	
印刷製本費	10,000		10,000	33,437	23,437	
通信費	465,000		465,000	601,365	136,365	
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	133,053	83,053	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	39,769	10,231	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	1,000		1,000	80	920	
リース料	233,000		233,000	169,140	63,860	
手数料	22,000		22,000	19,440	2,560	
地域協力費	50,000		50,000	48,876	1,124	
その他	159,200		159,200	34,219	124,981	
事業費	392,000	0	392,000	293,667	77,354	
運営協議会経費	42,000		42,000	21,021	20,979	予算:指定額
指定管理料充当 事業	350,000		350,000	272,646	77,354	
管理費	6,204,838	630,800	6,204,838	7,362,825	121,497	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	3,574,000	0	0	4,332,522	0	
電気料金			0		0	
方入料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	227,000		227,000	227,908	908	
修繕費	474,000	630,800	1,104,800	1,104,800	0	予算:指定額
機械警備費	266,000		266,000	266,205	205	
設備保全費	1,203,000	0	1,203,000	1,182,530	20,470	
空調衛生設備保守	579,000		579,000	589,751	10,751	
消防設備保守	39,000		39,000	43,719	4,719	
電気設備保守	26,000		26,000	26,831	831	
害虫駆除清掃保守	86,000		86,000	86,003	3	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	473,000		473,000	436,226	36,774	
共益費	0		0	0	0	
その他	351,000		351,000	248,860	102,140	
公租公課	860,800	0	860,800	833,183	27,617	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	860,800		860,800	833,183	27,617	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	19,602,838	630,800	19,602,838	20,316,088	545,255	
差引	280,838	0	349,962	186,624	721,919	

自主事業費収入	350,000		350,000	0	350,000	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	350,000		350,000	272,646	77,354	
自主事業収支	0	0	0	272,646	272,646	⇒自主事業(指定管理料充当)の自主事業収支
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	11,844	11,844	駐車場利用料金・自動販売機手数料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	9,600	使用料(横浜市への支払等)・駐車場利用料金
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	2,244	2,244	

**平成29年度「下瀬谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,056,000	189,000	28,867,000	28,867,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	3,559,437	2,229,563	2,229,563	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	15,730	15,730	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	12,900	12,900	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	117,101	117,101	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	11,844	11,844	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	105,257	105,257	実習生受入、確定拠出年金戻入収益
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	34,996,000	3,748,437	31,247,563	31,393,294	145,731	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,470,000	0	30,470,000	27,837,949	2,632,051	
本俸	14,616,000		14,616,000	15,871,641	1,255,641	
社会保険料	3,130,000		3,130,000	3,471,134	341,134	
手当計	8,000,000		8,000,000	7,659,605	340,395	
健康診断費	50,000		50,000	59,565	9,565	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	762,000		762,000	484,817	277,183	
その他	3,912,000		3,912,000	291,187	3,620,813	
事務費	1,410,000	0	1,410,000	1,491,313	81,313	
旅費	50,000		50,000	16,026	33,974	
消耗品費	400,000		400,000	255,966	144,034	
会議購い費	0		0	1,947	1,947	
印刷製本費	0		0	50,663	50,663	
通信費	365,000		365,000	520,226	155,226	
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	9,600	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	1,000		1,000	0	1,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	38,780	1,220	
職員等研修費	60,000		60,000	440	59,560	
振込手数料	5,000		5,000	9,396	4,396	
リース料	74,000		74,000	55,728	18,272	
手数料	10,000		10,000	5,000	5,000	
地域協力費	20,000		20,000	20,000	0	
その他	385,000		385,000	507,541	122,541	
事業費	1,240,000	0	1,240,000	756,670	483,330	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	150,000		150,000	64,586	85,414	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	100,084	208,916	予算:指定額
管理費	1,876,000	0	666,000	1,789,517	28,165	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,215,000	0	0	1,151,682	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	60,000		60,000	60,582	582	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	70,000		70,000	70,763	763	
設備保全費	317,000	0	317,000	314,339	2,661	
空調衛生設備保守	153,000		153,000	156,768	3,768	
消防設備保守	10,000		10,000	11,621	1,621	
電気設備保守	7,000		7,000	7,132	132	
害虫駆除清掃保守	22,000		22,000	22,861	861	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	125,000		125,000	115,957	9,043	
共益費	0		0	0	0	
その他	93,000		93,000	66,151	26,849	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対応費			0	0	0	
支出合計	34,996,000	0	33,786,000	31,875,449	3,062,233	
差引	0	3,748,437	2,538,437	482,155	3,207,964	

自主事業費収入	610,000			28,630	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	610,000			315,670	
自主事業収支	0			287,040	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			11,844	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			2,244	

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：下瀬谷地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	認知通所介護
		収入	介護保険収入	7,451,178	33,107,751	105,284,056
その他	9,170,101		1,518,432	589,054	0	0
介護予防ケアマネジメント費	9,170,101					
要介護認定調査委託料収入			532,030			
委託事業			968,642			
その他の事業収入				527,610		
雑収入				2,345		
経常経費寄付金収入				24,477		
受取利息配当金収入				1,722		
その他			17,760	32,900		
収入合計(A)	16,621,279		34,626,183	105,873,110	7,588,513	5,678,097
支出	人件費		32,292,535	79,170,608		
	事務費		930,546	2,713,518		
	事業費		10,490	11,403,737		
	管理費		67,997	10,669,611		
	その他	16,621,279	1,000,536	254,848	0	0
	利用者負担軽減額			42,688		
	消費税					
	介護予防プラン委託料	7,425,600				
	車輛運搬具取得支出		151,920			
	ファイナンス・リース債務の返済支出		848,616	212,160		
その他	9,195,679					
支出合計(B)	16,621,279	34,302,104	104,212,322	0	0	
収支 (A) - (B)		0	324,079	1,660,788	7,588,513	5,678,097

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 下瀬谷地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うたごえ広場	高齢者	116,778	地活	16,578	100,200		94,658	22,120	
	552		包括						
	200		生活						
親と子のフリー広場	親子	25,961	地活	25,961	0	0	11,137	14,824	0
	1341		包括						
			生活						
男の料理教室	高齢者	35,725	地活	24,225	11,500	0	20,046	15,679	0
	24		包括						
	700		生活						
子ども向け夏休み企画	こども	6,688	地活	6,688	0	0	5,568		1,120
	31		包括						
	300		生活						
音の駅	地域住民	2,500	地活	2,500	0	0	0	0	2,500
	70		包括						
			生活						
秋のケアプラザ祭り	地域住民	43,640	地活	37,516			14,477	23,039	
	508		包括	6,124					
			生活						
ケアプラで書初め	こども	1,080	地活	1,080				1,080	
	10		包括						
			生活						
ボランティア感謝のつどい	ボランティア	18,295	地活	18,295				18,295	
	21		包括						
			生活						
南瀬谷連合まつりブース出店	地域住民	2,436	地活			2,345	1,218	1,218	
	1000		包括						
			生活						
四ツ木会	脳血管疾患を抱えている方	16,496	地活	4,246	4,000			8,246	
	73		包括	4,250					
			生活						
カフェ・アロハ	地域住民	42,971	地活	9,146	9,385			18,531	
	134		包括	9,148					
	100		生活	12,900					
ちびっこ集まれプラレール	親子	108	地活	108				108	
	253		包括						
			生活						
権利擁護事業	地域の高齢者	11,137	地活				11,137		
	45		包括	11,137					
			生活						
みんなで学ぶ認知症講座	民生委員・地域の担い手	13,000	地活						13,000
	110		包括	13,000					
			生活						
介護者のつどい	地域住民	11,893	地活				5,568		756
	88		包括	6,324					
			生活	5,569					

平成29年度 自主事業報告書

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえ広場	高齢者の閉じこもり予防、地域住民の交流の場などを通じて、介護予防を目的とする。アコーディオン奏者、指揮者を講師に迎え抒情歌や唱歌を歌い、休憩時間にボランティアによる喫茶を提供します。	毎月第4火曜日 H29.4～H30.3 計12回 13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	介護予防を含めた生きがい作りと団塊の世代の男性の地域デビュー、仲間作りの場の提供を目的とする。買い物の仕方から始まり、食材の切り方など料理の基本を学び、簡単な家庭料理を自分で作れるようになることを目的とする。	H29.10・11・12月 計3回 9:30～13:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
四ツ木会	脳血管疾患後遺症のある方が、障害を持ちながらも閉じこもることなく、地域社会に参加できるように、仲間と一緒に楽しくリハビリを行い、交流ができることを目的に開催。内容は、お話、軽体操、ゲーム(ホッチャ、カールング)などを予定。	毎月/第4木曜日 計12回 13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこひなベーカリー	横浜ひなたやま支援学校の生徒さんの学習支援として、ケアプラザ内でパン販売等の後方支援を行う。	H29.10月 3回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親と子のフリー 広場	親と子・同世代の子を持った親同士・子ども同士が気軽に交流できる場として開催する。育児の悩みや情報交換が出来る場としての役割や、地域でお母さんが孤立しないような役割など、場の提供だけにとどまらず、広く子育て支援を行う。	毎月第2・4金曜日 H29.4～H30.3 計24回 10:00～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちびっこ集まれ プラレール	多目的ホールを子育て中の親子の交流の場として開放する。男の子が大好きなプラレールの自由遊びとし、普段参加できないパパの参加を促す。	毎月第2日曜日 計12回 9:30～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でぎゅーっ と！スキンシップ	地域の子育て支援事業として、瀬谷区内の保育園と合同で開催。	H30.1.16 10:30～11:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども向け 夏休み企画	子ども達の夏休みの居場所づくりと宿題や課題への取り組みのお手伝いを行う。親子の思い出作りの手助けとして開催。	H29.7.31 09:00～15:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬休み企画 (ケアプラで書き 初め)	小学生・中学生を対象に、冬休みの宿題の書初めを書く部屋を開放。貸館団体の書道グループ等協力頂き書き方のアドバイスも行う。また宿題以外に下瀬谷ギャラリーに展示していただく字も書いて頂く。	H30.1.5 09:00～12:00

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋のケアプラザ祭り	地域住民との交流、普段ケアプラザに来る機会の少ない方に対するケアプラザの周知、貸館団体の披露の場を目的として開催する。	H29.10.1 10:30～14:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝のつどい	地域交流・包括・生活支援体制整備事業での共催。ケアプラザ自主事業や、デイサービスなどで活動しているボランティア同士の交流と、日頃の活動に対する感謝、意見交換をする場として開催する。	H30.2.25 13:30～15:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェ・アロハ	生活支援体制整備事業・包括・地域交流での共催。認知症の人やその家族、障害を抱えている人、子育て中の人など、誰もが参加できるハワイアンコミュニティカフェ♪出入り自由です。ハンドドリップ式自家焙煎コーヒーを真心こめてお淹れします。ご希望があれば出張も行います	偶数月 第1金曜日 計7回 (6回+出張1回) 14:00～16:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで学ぶ認知症講座	地域の担い手（民生委員・地域サロンとシニアクラブの担い手・ケアマネジャー）を対象に認知症について理解とケアプラザ・区役所との連携について理解を深め、認知症の地域での見守り強化を図る	①平成29年5月26日 14:00～16:00 ②平成29年6月8日 13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護のつどいオープン講座	介護・医療に関する情報を提供することによって在宅での介護の介護の支援をしていく ①訪問マッサージについて ②看取りに ③施設見学会	①平成29年7月11日 13:30～14:30 ②平成29年9月12日 13:30～15:30 ③平成29年11月14日 9:50～12:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護事業	「エンディングノート書き方講座」「エンディングノートから遺言へ」の講座を連続的に開催することによって終活活動の普及を図る	①平成29年8月21日 13:30～14:40 ②平成29年8月28日 13:30～15:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと施設協力医の交流会	事例を通しての医療知識の習慣・ケアマネジメントにおける困難ケースへの後方支援・又情報交換	毎月第3金曜日 計12回 13:00～14:00